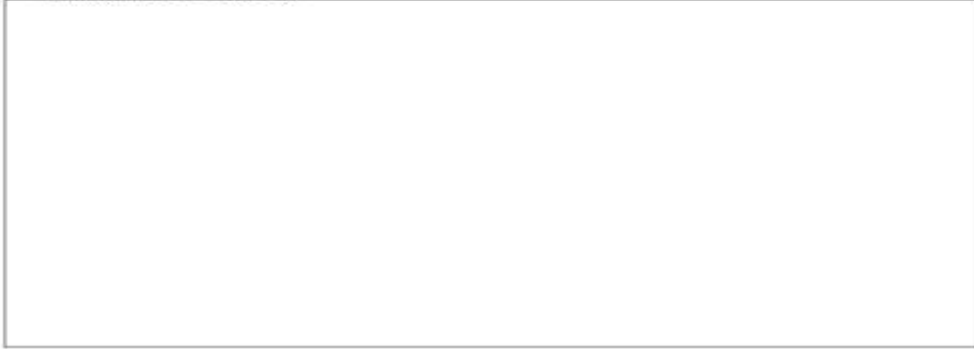


問6 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書き下さい

●調査票（世帯代表、世帯員 共通）

問6. 今回の災害からの復旧・復興について、あなたが期待すること、望むことなどがあれば、お書きください。



問6 今回の災害からの復旧・復興について期待すること、望むこと【自由記入】

・寄せられた復旧・復興に期待すること、望むことについて、38項目のキーワードで分類した主な意見の内容を抜粋し、またそれらの件数についてまとめます。

項目 (キーワード)	主な意見内容	件数 (世帯主、世帯員)
1 安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> 被災した土地は元に戻すだけでなく、安心、安全に暮らせるよう対策してほしい。 また台風が来たとき同じ事を繰り返さない様にして欲しい。安心して暮らせる町づくりを期待しています。 	(22, 30)
2 助け合い	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑の輝くまち丸森。丸森町が人々の笑顔であふれ、助け合い精神が強い人が育つようになればと思います。 人は「誰かのために役立ちたい」誰しも心の中に持っています。若い人たちと話し合いの場を持ち、意見を取り入れて、支え合い助け合いの地域をつくって行きたい。 	(8, 11)
3 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 仮設に入るに地域の方とバラバラにされ、ただでさえ不安だらけになったのに人間関係も不安が増え救われません。地域コミュニティごとの移住も優先順位の1つだと思えます。 人口減少や高齢化の進行等ですと、将来的な安全安心な場所に住環境を整え集合した地域コミュニティを図り、効率よい行政サービスを行うコンパクトシティ化を図る考えもあると思う。 	(6, 9)
4 ライフライン	<ul style="list-style-type: none"> 今後、災害が起きた時、ライフラインの早期復旧、水害による役場、消防署の機能停止を回避できるような対策をしてほしい。 今後の人口減少、ライフラインの老朽化を考えれば、住居地域の限定、集中化によって将来のインフラ整備をセーブしていく方向に行かないと立ちいかなくなるのではないかと。この機会に新しい居住区を作り、そこをだんだん広げて行ったらいいと思います。 	(18, 13)
5 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の再建が最重要。丸森町内に住みつけたいと思える環境づくりを！ 被災者の一日も早い生活再建、町内での暮らし再建。 	(8, 5)
6 防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> また、次も同じような台風が来るだろうと想定した上で、考えていくことが必要だろうと思います。 地球温暖化がどこまで進むのか。それによって気候変動がもたらす災害はどこまで拡大するのか。だれも予測できない。当面は台風19号レベルに対応できる対策が求められるものの、それを上回る自然災害が発生するかもしれない。従って防災・減災が極めて重要になる。 	(43, 36)
7 復旧復興	<ul style="list-style-type: none"> 「災い転じて福」としたい。衰退する町の再生をみんなで考える好機にしたい。 台風の経路が完全に変わってきている。その背景にあるのは温暖化だと思う。今回の19号と同等の台風が来るという前提でハード面、ソフト面両方に対応する必要がある。各個人が防災に対する認識を再度見直し、地区又は町単位全員で一定方向を見て復旧・復興する必要がある。 	(93, 61)
8 伝承	<ul style="list-style-type: none"> 今回の災害は町の歴史以来最大のもので将来の教訓となるようにその実態と対応を残し、次の世代にも引き継いでいくことが災害を体験した町民の義務であると考えています。 冠水した主な箇所に最高水位表示板（柱）などを建てたり、被災内容を記録した石碑などを建立し、この大災害を後世に伝え残すべきだ。天皇陛下皇后陛下が災害見舞のため来町された記念碑建立も、後々への言い伝えの材料となる。 	(7, 3)
9 避難・避難所	<ul style="list-style-type: none"> 災害避難所の再検討をお願いしたい。現状は、避難所に行こうにも道路が増水していて行けなかった。高台に設定して欲しい。 高齢世帯が多くなる中で、いかに移動手段のない人達を避難場所へ避難させるかが重要になると感じた。 	(37, 32)

10 情報・連絡	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが個々に担当課に赴き聞くと、バラバラな方向性が発生するので、区長を通じて適切な判断を望む。 テレビで流れるニュースを見ているだけで怖くて動けませんでした。1人の生活なので災害の時はどうしたらよいのか困っていますので、自治会の方とか役場の方々の声掛けを期待します。 	(44, 46)
11 仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> 仮設住宅1人用は狭く寝る事出来ません（こたつあるので）。できるなら公営住宅は1人用でも2部屋が有る様に。 今、大館仮設に300人の人がいる。このさき2年めどに仮設住宅を出ないとダメ。どこに行けばいいのかまだ解らない。 	(5, 6)
12 公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の再建ができない人も多いと思いますので安全な場所への町営住宅または災害公営住宅の早期着工を進めていかないと仮設住宅、みなし仮設等に入っている人達は町外に出ていくことになる。 仮設に入居の方が安心して住める公営住宅の建設を早期にお願いしたいと思います。 	(11, 6)
13 河川対策	<ul style="list-style-type: none"> 何度も川の氾濫、崩落を見てきましたが、修復は現状維持だけの工事を繰り返すだけです。強靱な国土づくりで、何度も破壊され町民に心配されないように願うばかりです。 内水氾濫を防ぐための対策を強化してもらわないといけない地域ですので国の支援なくしては丸森町だけでは、難しい問題だと思います。安心安全な丸森町にしてほしいです。 	(34, 24)
14 山・森・林	<ul style="list-style-type: none"> 雨は直接地面に当たると土くれを砕くと。町名に丸森と冠している本町は、名は体を表すと、まずは豊かな森の建設をお願いしたい。 災害が大きくなった要因の一つに森林の乱開発と放置によるものがあるのではないかと思います。伐採跡にはやはり植林(広葉樹)とかも考慮し積極的に進めるべきかと思えます。 	(12, 5)
15 水害	<ul style="list-style-type: none"> これからも同様の台風、雨が降るようになると考えます。ワンランク上の対策が必要と考えます。 水害に強い町づくりをしないと産業の創出及び若者定住もない。丸森町に企業進出は期待できないので、角田市と共同で考えてもらいたい。 	(34, 5)
16 土砂	<ul style="list-style-type: none"> 土砂が堆積しているため、台風19号で以前よりさらに災害が起きやすい河川の状況になっている。早急に川底を掘る、排水ポンプを設置する等対応していただきたい。 水田、道路の土砂、材木の撤去や1日も早く元の生活に戻れるように町内の再建と、今後同じ災害に合わない様に対策強化してほしい。 	(31, 29)
17 堤防	<ul style="list-style-type: none"> 被害の甚大部を優先して欲しい。一部各地区の堤防等の整備にも対応してほしい。 内川の築堤のかさ上げ復旧と川床の掘削。雨降るたびに心配しなくとも良い町に願いたい。 	(17, 11)
18 道路・橋	<ul style="list-style-type: none"> 国道349号線の早期復旧。災害に強い道路の整備（緊急車両が通行可能な）。 道路復旧がまず第一だと思う。道路がないのに戻れないし、人を呼ぶこともできない思う。 	(82, 67)
19 排水	<ul style="list-style-type: none"> 内水での浸水や阿武隈川からの越水や氾濫が起きることがないように、排水機場の新設や堤防のかさ上げ、川底の浚渫工事を早期に実施する。 阿武隈川の増水により、小河川の水が流れなくなり、今回のような状態になるので小河川の復旧はもちろんのこと、内水の排水を考えてもらいたい。 	(25, 8)
20 治山・治水	<ul style="list-style-type: none"> 町中心部（役場周辺）の治水対策を、県営又は国営事業で実施してもらえよう要望してはどうか。 急な山の中に太陽光発電が計画されているようですが、自然を破壊することなくお願いします。我々河川沿線に住んで居る者は安全な治水、治山を望みます。 	(11, 5)
21 災害廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 宅地の災害廃棄物、堆積土砂の早期撤去しないと前進は無理。住宅と仕事場は同じ場所のため、台風から休んでいる。 大耕広場の災害ゴミ、被災した家屋、家財道具毎日のように運び込まれて、いつまで続くのかと思うと不安だし衛生面でも心配。 	(11, 6)

22 公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 阿武急の復活、お願いします。槻木まででも良いので日中の復旧お願いどこにも行けないです。 阿武隈急行の復旧を一日も早くしてください（丸森～福島間）。鉄道ができるまでは富野までのバスを出して欲しいです。 	(15, 19)
23 支援・補助金	<ul style="list-style-type: none"> 義援金による半壊の世帯に支援をしてほしい。浸水1mの壁は高く、半壊には支援金が何もない。 県内でももっとも手厚い補助の「しあわせ丸森暮らし応援事業」や「みらのたくみ育成」の補助金を継続していただきたい。 	(34, 21)
24 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 官公庁（役場、病院、消防支所）などの施設の抜本的な見直しが必要では。 丸森町役場を中心とした各地区の公共建築物、一般住宅等が水害にあわないようにしていただきたい。 	(18, 11)
25 住宅	<ul style="list-style-type: none"> 宅地の確保してもらえるのは大変いいと思うが今後のことを考えると解体しても宅地の持ち主が住まないのではないかとますます人口減になるのは間違いないと思う。 今後住む場所、土地の情報・提供を早くしてほしい。 	(11, 11)
26 町づくり	<ul style="list-style-type: none"> 今回の災害でさらなる人口流出が予想される。町全体の強靱化を図るには、早い段階でスマートシティ化に舵を切る必要があると思う。 今後、若い人たちがどういう町にしたいかを重視して、子育てしやすく、他からも転入者が来るような町づくりを期待します。 	(42, 29)
27 高齢者・障がい者	<ul style="list-style-type: none"> 独居老人世帯の集約化を考えておく必要があると今回のような災害があるとより強く思う。 高齢化もすすみ、高齢者を支える人がいない。交通の便の良い所へ人の移動と町の再構築が優先でないか。災害公営住宅に山間部の一人暮らしの方も暮らせる工夫。 	(25, 17)
28 農地	<ul style="list-style-type: none"> 田（水稻）を作りたいが農道が崩れて作れない。早い田畑の復旧を望みます。 丸森の農地は、このままだと従事者が高齢であり誰も止めてしまう状況。台風の前に提示された大規模化等の事業を同時に進行することが重要だと思う。 	(22, 7)
29 農林業	<ul style="list-style-type: none"> 暖房機などなく花の生育は凍害にあって春の収入が大幅に減収、生活が成り立たない。今必要な農機の早期使用を可能にしてもらいたい。 農地の被害が大きく個人として復旧はむずかしい年齢（86歳）で、農地、農機具等の被害が大きく、資金などは見通しが立たない。 	(6, 10)
30 移転・移設	<ul style="list-style-type: none"> 町中心機能移管。地球温暖化により今回の台風並みの被害がくり返し来るため。 これから人口減少が進む状況で、全ての公共事業を進めるには予算不足です。過疎地区や災害の大きかった地区は、集団移転し集約化し、災害に遭いにくい町を目指す。 	(17, 11)
31 ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 町としてボランティアを募るなら、ボランティアに仮設トイレやお風呂を提供するようなバックアップがあってもよいと思う。 災害現場に多くのボランティアさんがおいでになったと聞いています。全国からの支援も含め感謝の気持ちを町としてもHPなどでもっと紹介し、まだまだ支援がほしいところについてもアピールして欲しいです。 	(11, 8)
32 被災者	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の意見をよく聞いて、ていねいに進めてほしいと思います。できるだけスピード感も重視して欲しいと願います。 今回被災された人達の住宅の復旧、復興を最優先に考え、計画通りの日数で早く復興させてもらいたい。 	(15, 12)
33 行政	<ul style="list-style-type: none"> 町の百年の針を考え廃町にならぬ様にして欲しい。町政が心配です。無駄なハコ物はいらぬ。夕張市のようにならぬよう復興計画を。 今回の度重なる災害を機に、ただ住んでいるだけでなく地域で安心安全について考えることは勿論だが、将来について今地域がどんな状況で将来このままではどうなるかを語り合う時期と思う。 	(30, 12)

34 役場・職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に役場が冠水して機能しなくなるのはお粗末。役場機能を失わない様にして欲しい。 ・ 罹災に遭った人が書面で提出したもののみで判断して補助を出すのではなく、役場職員が現場に赴いて現状を見て欲しい。書類を提出した人のみ補助を出し、出さなかった人には何もしないでは理不尽。 	(35, 21)
35 仕事・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人がほこりや安心を抱く町にしてほしい。やはり若い世代が定住又は働ける環境を！ ・ 災害で今までの仕事無くなり、今後の生活をどうしたらいいか。それらの事を考えると、復興どころの問題よりも自分たちがどうやって生きるか、それが一番の問題です。 	(13, 4)
36 観光・特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海にも近く、高速でいわき、日立にもつながっていていいところです。あと、阿武隈川の色のきれいな事。是非観光に力を入れて、国外観光者を誘うべきです。 ・ 米の農業依存度から脱却すべき。町民あげての特産物、特に自然災害に影響されにくいものをもっと推進していければと思う。 	(11, 7)
37 人口流出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の商店、施設等が次々となくなりさびれてますます人口が流出していきます 他の町に行かなければならない現状です。結論は働く場がないという事です ・ 人口の減少対策と災害に強い町づくりを望みます。 	(17, 14)
38 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害現場調査する段階で地区住民に立ち会って相談する。 ・ 災害前の状況にもどるのではなく、これを機会により活気のある魅力ある、人が集まる町に積極的に活動してほしいと思います。 	(20, 9)